

事前評価個表

整理番号	7
------	---

地域（地区）名	利根下流 <small>とねかりゆう</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	群馬県	対象市町村	前橋市ほか5市町村 <small>まえばし</small>
事業実施期間	H29～H33（5年間）	事業実施主体	県、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は群馬県の南東部に位置し、総面積は162千ha、森林面積は59千ha（森林率37%）である。民有林面積は48千haでスギ、ヒノキを主体とした人工林の面積は27千ha（人工林率56%）となっている。</p> <p>また、本地域の林道延長は465千m（林道密度9.6m/ha）で、このほかに作業道997千mが整備されており、林内道路密度は20.6m/haとなっている。</p> <p>本地域の民有林人工林については、Ⅳ齢級からⅩⅡ齢級までの森林が約75%を占めており、間伐等の整備が必要な森林が多くなっている。また、小規模零細な森林所有者が多く、採算性の問題等から整備が進まない森林も多々ある。</p> <p>このことから、「群馬県森林・林業基本計画」及び「森林吸収源対策」等の計画の達成に資するため、森林環境保全整備事業計画書を作成し、これに基づく森林整備を推進する必要がある。特に間伐については、小規模で複数の施業地を効率よく整備するため、路網整備を含めた施業の集約化を行い、渋川県産材センター等と連携しながら搬出間伐を推進し、県産材自給率の向上、森林所有者の所得向上及び地域経済の活性化を図る。また、本計画により適切な森林整備の推進することにより、水源涵養及び二酸化炭素の固定等、森林の持つ多面的機能の維持増進を図る。</p> <p>このため、利根下流地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づき、意欲と実行力を有する林業事業者等による、集約化された計画的な森林施業の実施を促進する必要がある。</p> <p>具体的には、本計画に基づき、本事業による効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,800ha 人工造林、下刈り、枝打ち、保育間伐、間伐等</p> <p>路網整備：2,838m 林業専用道</p> <p>総事業費：1,174,564千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 5.02 （総便益(B) = 9,557,150千円、総費用(C) = 1,905,381千円）</p>
評価結果	<p>必要性：計画的に森林の多面的機能の維持増進を図るため、事業の実施が必要である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備が推進することにより水源涵養及び二酸化炭素の固定等の森林の持つ多面的機能の維持増進も図られるため、有効性が高い。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

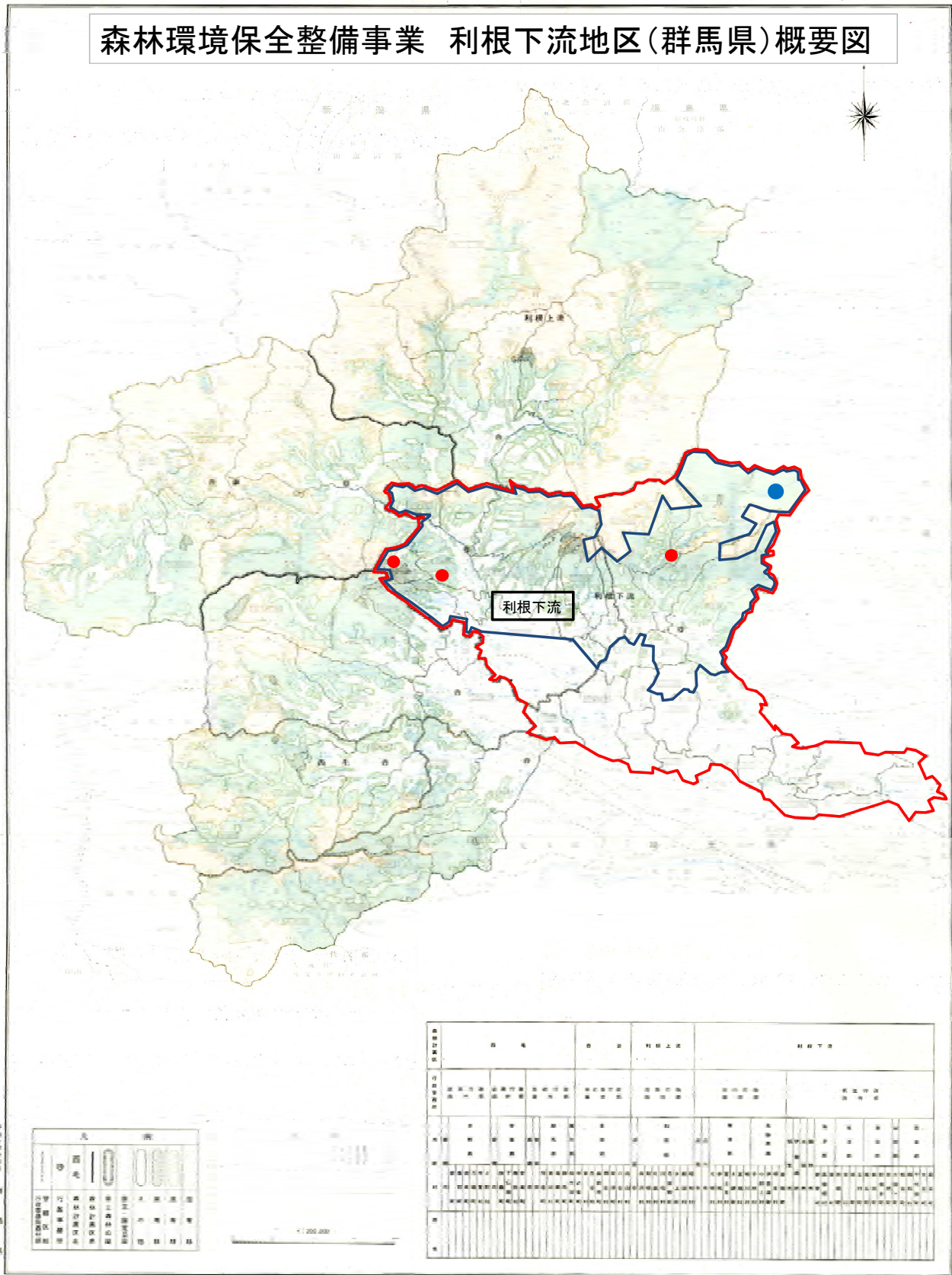
都道府県名:群馬県

地域(地区)名:利根下流^{とねかりゆう}

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,501,551	
	流域貯水便益	436,679	
	水質浄化便益	943,965	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,204,249	
	土砂崩壊防止便益	31,699	
環境保全便益	炭素固定便益	1,312,146	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	367	
	木材利用増進便益	75	
	木材生産確保・増進便益	902,968	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	7	
	森林管理等経費縮減便益	3,764	
	森林整備促進便益	1,219,680	
総 便 益 (B)		9,557,150	
総 費 用 (C)		1,905,381	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,557,150}{1,905,381} = 5.02$		

森林環境保全整備事業 利根下流地区(群馬県)概要図



凡例

- 森林計画区域
- 事業区域
- 林業専用道 ●
- 長期育成循環施業 ●